

書店(帖合)印

注文・返品条件付

ご担当者様名

様

ご注文数

冊

発行
発売

有限会社 全国社研社
株式会社 星雲社

人類社会の出発点
『古代的生産様式』
「アジア的生産様式」論の復活を
林 紘義【著】

ISBN978-4-434-16495-8 C0095

定価 1575円
(本体1500円+税)

注文
受付
FAX

03-3947-1617

(星雲社)

私有財産と国家の起源に迫る

人類は一万年から数千年も昔のころ、自然史の段階を克服して社会史の段階にさしかかると——これはまた農業や牧畜などの生産的労働によって生きる時代に入ったということであるが——、最初の社会・生産様式を築き始め、“文明”を享受し始めるが、しかしそれは同時に、私有財産や搾取の社会へ、階級や国家が生まれ、発展してくる社会へと移って行くことでもあった。著者はこうした社会史のあけぼのを見つめることにより、その後の社会の歴史的発展と、一切の搾取や人格支配が一掃される人類社会の未来を展望する。

本書の目次

初めに

第1篇 「アジア的生産様式」についてのマルクスの概念——スターリニズム史学とエンゲルスの「責任」

第2篇 人類の社会史の曙——古代のオリエントとエジプト

第3篇 ヨーロッパの「アジア的生産様式」——古代ギリシャに先行した「ミケーネ社会」

第4篇 新大陸の「アジア的生産様式」——決定的につまずいたエンゲルスの理論

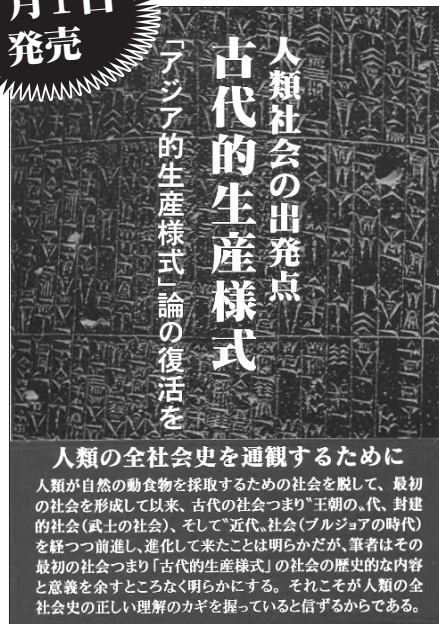
第5篇 中国の夏、殷と日本の古代国家——「古代的生産様式」の解明にそれぞれ重要な意義

B6判並製本364頁定価1575円(本体1500円+税)
ISBN978-4-434-16495-8 C0095

著者 林 紘義 (はやしひろよし) 略歴

筆者は1938年、長野県上田市生まれの伊那谷育ち。学生時代、共産党、それからブント(共産主義者同盟)などに参加、勤評、安保闘争などを闘い、それ以降も、社会党や共産党などの既成政党はもちろん、新左翼諸派にも反対して、一貫して独自の政治的闘いを推し進めてきた左翼活動家、論客。過去数回、ミニ政党(社労党)から国政選挙に立候補するも力足らずして落選、現在はマルクス主義同志会の会員。

3月1日
発売



人類社会の出発点
古代的生産様式
「アジア的生産様式」論の復活を

人類の全社会史を通観するために

人類が自然の動食物を採取するための社会を脱して、最初の社会を形成して以来、古代の社会つまり「王朝の代、封建的社会(武士の社会)、そして近代、社会(ブルジョアの時代)」を経つつ前進し、進化して来たことは明らかだが、筆者はその最初の社会つまり「古代的生産様式」の社会の歴史的な内容と意義を余すところなく明らかにする。それこそが人類の全社会史の正しい理解のカギを握っていると信ずるからである。

林 紘義【著】

『人類社会の出発点』
『古代的生産様式』
「アジア的生産様式」論の復活を

【発行】 有限会社 全国社研社

〒179-0074 東京都練馬区春日町1-11-12-409

TEL・FAX03-6795-2822

E-mail = uing-shaken@jcom.home.ne.jp

【発売】 株式会社 星雲社

〒112-0012 東京都文京区大塚3-21-10

TEL 03-3947-1021 FAX03-3947-1617